



春陽展アートツアー

4月29日(土) 13:00~14:00 2F会場入口集合

参加無料、オリジナルグッズ プレゼント

一般の方を対象にした、絵画・版画鑑賞ツアーです。

春陽会会員の解説を受けながらアートの新たな楽しみ方を発見していただけます。

特別展示

春陽百年記 2F展示室

春陽会が所蔵する貴重な資料や写真・動画を展示し、日本美術史の中での春陽会100年を検証します。

記念事業のweb上のアーカイブ「春陽会史料館」と連動しています。



春陽会第1回展 展示会場(大正12年 竹之台陳列館)



第1回展の作品受付風景

講演会「春陽会誕生100年によせて」

4月23日(日) 14:00~15:30 国立新美術館3F講堂 入場無料

パネリスト: 田中晴子氏(東京ステーションギャラリー学芸員)

木村理恵子氏(栃木県立美術館学芸員)

司会進行: 土方明司氏(川崎市岡本太郎美術館館長)

「春陽会誕生100年 それぞれの闘い」岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ展覧会を開催する美術館の学芸員である田中・木村両氏と、企画の立ち上げより関わっていただいている土方氏に、春陽会100年の歴史と展覧会の見所やエピソードをお話しいたします。



春陽会発会当日(大正11年1月11日)

北岡文雄と春陽会 3F展示室

春陽100周年を記念として、生前春陽会に多大なる貢献をしてきた日本を代表する版画家北岡文雄の特別展示を行います。

木版画作品、版木、道具、春陽帖記事等を展示します。



北岡文雄

第100回展記念企画事業



Commemorative Projects

春陽会誕生100年

それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

会期: 2023年9月16日(土)~11月12日(日)

会場: 東京ステーションギャラリー

主催: 東京ステーションギャラリー

共催: 一般社団法人 春陽会

株式会社日本経済新聞社

1923年、再興院展洋画部から脱退した小杉未醒、山本鼎、森田恒友、長谷川昇らと、草土社の岸田劉生らを中心としたメンバーによる、画家の志向を尊重し自由な活動を許容する団体、春陽会が発足しました。各人主義をうたい、知名度の高い花形作家を揃えた第1回展は、油彩、水墨画、素描などが同一の壁に展示されるなど、その宣言通り「芸術は形式で差別されない」ものでした。そして、第1回展は注目されて大成功をおさめ、春陽会は洋画界を代表する第3の団体として認知されます。形式に左右されず、大衆に訴えかけようという自由さが、油彩だけでなく、素描、挿画、版画などの展示へとつながりました。

春陽会では、西洋の最先端の美術動向に眼を光らせてこれを紹介しようとするとともに、自らの内面にある風土的ないし土着的なもの、日本ひいては東洋的なものを表現することを意識する画家が続出しました。また、画材や美観にこだわらず、己に立脚した個性をどう表出するかということにも葛藤しました。こうした、芸術の高みへと向かおうとする作家各々の表現の方向性を軸に、春陽会展では数々の傑作が発表されました。また、発足から戦前にかけては大衆と結びつく傾向もありました。自宅にかけやすい大きさの作品を発表し、絵画を教える春陽会研究所を運営し、新聞挿画室を設けるなどといった活動は、画家たちの活動を認知させ、次世代につなぐ試みであったと位置づけることもできます。

知名度ある作家が寄りあうようにして成立した春陽会が、時代と連動しつつ、他の団体とどう違う展開をとけて、今に続く足場を築いたのでしょうか。本展では、春陽会の創立から1950年代までの春陽展出品作を含めた代表作など約100点を紹介する予定です。(プレスリリースより引用)

この企画展は、東京ステーションギャラリーでの開催終了後、長野県立美術館、碧南市藤井達吉現代美術館など全国3美術館に巡回予定です。

春陽会第100回展記念企画

春陽会第4世代の作家たち

2023年12月5日(火)~12月11日(月) 東京都美術館

1960年代、第40回展前後に会員となり、日本美術界で活躍した画家、版画家25名(予定)を一堂に会した展覧会を開催します。

高度経済成長期を迎え、日本の画壇が大きく変貌したこの時代に、先進的な美術運動の流れに乗るといよりは、作家のそれぞれの個性を大きく花開かせることに向かう作家達が集結し、今日の春陽会の方向性を大きく決定づけました。これらの作家たちを春陽会第4世代と位置づけ、それぞれの春陽展受賞作などの代表作を展示します。

先行して開催された、第100回展記念企画「春陽会次世代を担う作家たち」展(2022年12月4日~11日)の記録とともに、合本として図録を発行予定です。

春陽会100年史

「春陽会史料館」開設 (WEBアーカイブ)

<http://shunyo-archive.com/>

日本美術史の研究に資する目的のため、春陽会が所蔵する創立から現代までのあらゆる記録や資料をデータベースとして公開します。

出品目録、印刷・出版物、新聞・雑誌等の掲載記事、音声、写真、動画など、未来に残すべき貴重な資料をデジタル化し、いつでもどこでも検索できるシステムとして構築しました。日本の美術団体としては初めての画期的な試みです。

キリトリセン

第100回記念 春陽展

入場割引券

会場入口にて
下記入場料から200円割引致します

■一般当日券 700円

※学生・70歳以上 無料

※障がい者の方と付き添いの方 1名 無料